

## 腎臓内科専攻医カリキュラム

### 1. 目標

腎疾患全領域の診療経験を深め、独立診療可能なレベルまで修練を積む。常に最善の診断、治療を求め尽力する。初期研修医の教育を行う。

### 2. 研修スケジュール

年度	
1年度	内科各部門のローテート研修
2年度	内科各部門のローテート研修終了後より腎臓内科研修(病棟、外来、検査、手術等)
3年度	腎臓内科研修(病棟、外来、検査、手術等)
終了後の予定	希望等により腎臓内科スタッフに採用される

### 3. 診療科の特徴

当院は愛知県東三河地域の最大の急性期中核病院で、最後の砦ともいべき存在であり、その中の腎臓内科として精密な診断と最善の治療を提供すべく努力している。診療圏人口は約70万人で、豊橋市内外の近隣総合病院からの紹介を含め外来、入院患者数は多く、腎臓内科領域の全てを経験できる環境である。

### 4. 研修体制

#### 1) 教育病院の指定の有無

**日本腎臓学会研修施設**  
**日本透析医学会認定施設**

#### 2) 研修カリキュラム

日本腎臓学会、日本透析医学会研修カリキュラムに準拠。

#### 3) 取得可能な認定医および取得可能な時期

日本内科学会認定医

日本内科学会総合内科専門医

日本腎臓学会専門医(日本内科学会認定医取得後3年以上かつ当科等での研修3年以上)

日本透析医学会認定医(日本内科学会認定医かつ当科等での研修5年以上)

#### 4) スタッフ体制

部長1名、副部長1名、専攻医2名、研修医 1～3名

#### 5) 症例検討会、抄読会等のスケジュール

- (1) 症例検討会: 毎週木曜日 16時～18時
- (2) 病棟朝カンファレンス 毎朝午前8:30～
- (3) 抄読会: 適宜
- (4) ミニレクチャー: 適宜
- (5) 腎病理検討会: 適宜

## 6) 主な参加学会

日本内科学会、日本腎臓学会、日本腎臓学会西部会、日本透析医学会、米国腎臓学会、その他

## 7) 定期的に参加する研究会等

- |                                  |       |
|----------------------------------|-------|
| (1) 名古屋腎疾患研究会                    | 年 4 回 |
| (2) 東海 Critical Care Nephrology  | 年 1 回 |
| (3) Skill up Nephrology in Tokai | 年 2 回 |
| (4) 愛知県透析セーフティマネジメント研究会          | 年 2 回 |
| (5) 三河腎と膠原病研究会                   | 年 1 回 |
| (6) 三河糖尿病透析懇話会                   | 年 1 回 |

いずれも当科部長が世話人となっている。

## 5. 主な経験目標

### 1) 診察法・検査・手技

#### (1) 診察法

全身状態の観察と把握、正確かつ詳細な病歴聴取、腎の触診等

#### (2) 検査法

尿、血液生化学、免疫、腎機能(GFR 等)、画像診断、病理組織学的検査、腎内分泌機能検査等

#### (3) 基本的手技

腎生検、人工透析用カテーテル留置、人工透析用シャント造設術、血管造影及び拡張術等

#### (4) 基本的治療法

生活指導、食事指導、輸液・水・電解質管理、薬物療法、血液浄化法等

### 2) 経験すべき症状・病態・疾患

#### (1) 症状

尿異常、浮腫、高血圧、尿毒症症状等

#### (2) 病態

腎炎、ネフローゼ症候群、腎不全、水・電解質・酸塩基平衡異常等

#### (3) 疾患

### 1. 腎不全

#### a 急性腎不全

##### 1) 腎前性

##### 2) 腎後性

##### 3) 腎性

#### (1) 急性尿細管壊死

虚血腎

腎毒性物質

薬物性腎障害(ミオグロビン農薬重金属抗生物質キノコなど)

## (2)急性腎疾患

急速進行性糸球体腎炎

血管炎

急(慢)性間質性腎炎

腎皮質壊死

腎乳頭壊死

両側腎血管障害

## 4)多臓器不全

b 慢性腎不全

慢性糸球体腎炎

糖尿病性腎症

腎硬化症(良性悪性)などの血管障害

慢性間質性腎炎

慢性腎盂腎炎などの感染症

代謝性疾患

遺伝性疾患

泌尿器科的腎・尿路疾患

移植腎(拒絶反応など)

c 長期透析患者の病態

## 2.水・電解質代謝異常

a 水代謝調節系の異常

脱水症

溢水症

SIADH

中枢性腎性尿崩症

b 電解質異常

c 酸・塩基平衡異常

## 3.原発性糸球体疾患

a 臨床症候分類

急性腎炎症候群(急性糸球体腎炎

急速進行性腎炎症候群( ANCA関連腎炎を含む)

無症候性反復性・持続性血尿蛋白尿(起立性蛋白尿を含む)

慢性腎炎症候群

ネフローゼ症候群

b 形態分類

微小変化群

巣状分節性病変(巣状糸球体硬化症,巣状メサンギウム増殖性腎炎を含む)

びまん性糸球体腎炎

(1)膜性糸球体腎炎(膜性腎症)

(2)増殖性糸球体腎炎

メサンギウム増殖性糸球体腎炎( IgA腎症,非IgA腎症)

管内性増殖性糸球体腎炎

膜性増殖性糸球体腎炎( I 型およびIII型)

管外性増殖性糸球体腎炎(半月体形成性腎炎)

(3)分類不可能の糸球体腎炎

c 遺伝性糸球体疾患

#### 4.尿細管間質性疾患

a 尿細管間質性腎炎

1)感染症

急性腎盂腎炎(急性感染性尿細管間質性腎炎)

慢性腎盂腎炎(慢性感染性尿細管間質性腎炎)

尿路感染症に起因する敗血症

特異的感染症

2)特発性間質性腎炎(急性・慢性)(TINUを含む)

薬剤性(アレルギー性)

免疫異常に伴う

腎乳頭壊死

腫瘍性疾患に伴う

b 尿細管間質障害

閉塞性腎・尿路疾患に伴う

水腎症

膿腎症

逆流(性)腎症(膀胱尿管逆流現象)

重金属による

代謝異常による

遺伝性

糸球体疾患に伴う

放射線腎炎

肉芽腫性サルコイド腎症

原因不明のもの

c 急性尿細管壊死

腎毒性物質・薬物性腎障害(ミオグロビン農薬重金属抗生物質キノコなど)

虚血腎

d 尿細管機能異常

尿細管性アンドーシス

腎性糖尿

Barter症候群

Liddle症候群

腎性尿崩症

#### 5.全身性疾患による腎障害

a 糖尿病性腎症

b 痛風腎

c アミロイド腎(腎アミロイドーシス)

d 骨髄腫腎

e Dense deposit disease

f Light chain deposition disease

g 膠原病とその近縁疾患に伴う腎障害

ループス腎炎

強皮症腎

結節性多発動脈炎

Wegener肉芽腫

ANCA関連腎炎

慢性関節リウマチ

シェーグレン症候群

クリオグロブリン血症

コラーゲン線維性糸球体腎症

抗リン脂質抗体症候群

混合性結合組織病

ベーチェット病

Goodpasture症候群

紫斑病性腎炎

h 血管内凝固症候群による腎障害

i 血栓性細小血管症(溶血性尿毒症症候群,血栓性血小板減少性紫斑病)

j 肝疾患に伴う腎障害(肝・腎症候群を含む)

k 感染症に伴う腎障害

l 悪性腫瘍に伴う腎障害

m 電解質代謝異常に伴う腎障害

n 脂質代謝異常による腎障害

## 6.高血圧および腎血管障害

a 高血圧

1)本態性高血圧

2)二次性高血圧

(1)腎性高血圧

・腎血管性高血圧

・腎実質性高血圧

(2)内分泌性高血圧

・原発性アルドステロン症

・クッシング症候群

・褐色細胞腫

・甲状腺機能亢進症

3)血管性高血圧(大動脈炎症候群など)

4)神経性高血圧

b 腎血管障害

1)動脈硬化性腎障害

2)高血圧による腎障害

本態性高血圧による腎障害(良性腎硬化症)

悪性高血圧による腎障害(悪性腎硬化症)

二次性高血圧による腎障害

3)腎動静脈瘻

4)腎動脈瘤

5) ナットクラッカー現象

c 血栓塞栓

腎梗塞

腎静脈血栓症

腎皮質壊死

d 血管炎関連疾患

e HUS, TTP

**7. 遺伝性腎疾患**

a 遺伝性糸球体腎炎

b 先天性ネフローゼ

c 先天性糖・脂質代謝異常に伴う腎疾患

d 遺伝性尿細管疾患

Barter症候群等

**8. 妊娠の腎に及ぼす影響**

a 正常妊娠時の腎機能

b 妊娠合併症

妊娠中毒症・妊娠誘発高血圧症

腎・尿路感染症

急性腎不全

c 腎疾患と妊娠

3) 研究会・学会発表・論文発表

(1) 研究会発表 以下の研究会等のいずれかに1回以上の発表を行う。

**名古屋腎疾患研究会、三河腎と膠原病研究会、三河糖尿病透析懇話会等**

(2) 学会発表 以下の学会のいずれかに1回以上の発表を行う。

日本腎臓学会、日本腎臓学会西部会、日本透析医学会、米国腎臓学会等

(3) 論文発表 以下の学会誌のいずれかに1編以上の掲載を行う。

日本腎臓学会誌、日本透析医学会誌等